

## ディボーション質問表



### 28日(月) エレミヤ書 52: 1~34 付録

1. この章はⅡ列王記 24: 18~25: 30 とほとんど同じです。またこの章は、別の人物によって書かれエレミヤの預言が成就したことと、その希望の約束が真実であることを歴史的に記述しようと試みたと思われます。更に、詳細な出来事を記することによってエレミヤの言葉は神様からの預言であったことを証明しようとしたのでしょ。 → 聖書は、夢物語やためになる本といったレベルではなく、真に神様の言葉であり、私たちの歴史と生活と共にある特別な書物であることを認めているだろうか？

### 29日(火) 哀歌 1: 1~22 第一の歌

これはエルサレムの都が陥落した事を嘆いて書かれた書物です。恐怖に 満ちた破滅が多く描かれてはいますが、わずかな慰めを示す箇所もあり、最後の祈りは神に目を向ける預言者の心がよく表われています。

1. 滅ぼされたエルサレムの様子を見て、あなたが最も心を痛める点は何ですか？
2. このような没落を見て、私たちは自業自得だ、と考えがちですが、実際はどうだと思えますか？ このように滅ぼされたユダ王国の背後には神様のどんな計画があったと思えますか？
3. このような困難の中にいる人々が誰か思いつきますか？ あなたはどのようにその人たちに接して、励ます事ができるでしょうか？

### 30日(水) 哀歌 2: 1~22 第二の歌

前章のような荒廃にいたるまでの神様の怒りが、この箇所にはいろいろと記されています。

1. 神様の怒りの対象となった罪がいくつか出てきます。あなた個人は同じような罪が何かありますか？ もしあれば悔い改め、さらなる成長を祈り、願いましょう。
2. 神様はユダヤにどんな痛みを与えていますか？ 自分たちは痛みの中にあっても神様に叫び、求める事ができます。あなたが神様に祈り求めている事は何でしょうか？
3. ユダヤ人の痛みから、あなたは何を学びますか？

### 31日(木) 哀歌 3: 1~21 第三の歌(悩める者の叫び)

1. この箇所は著者の嘆きと苦しみです。私たちの人生に絶望が襲ってくる事があります。あなたはこのような気持ちになった経験をどんな時にしましたか？ 著者の苦しみのどんな点が自分にあてはまるでしょうか？
2. 行動の制限とあざけりのことばで著者は苦しめられました。先のない苦しみの中で、彼は主に求めます。この事はあなたをどのように励ましますか？ 28節の道を持つ我々は、どのようにして困難に立ち向かって行く事ができるでしょうか？

### 1日(金) 哀歌 3: 22~39 第三の歌(神のあわれみ)

1. ここでは著者に与えられた希望が出てきます。この箇所でもあなたに響く希望の言葉はどれですか？ また、なぜそれが自分にあって励ましとなっていると思えますか？
2. 新約のイエスの教えと共通する部分がこの箇所にあります。特にどの箇所にそれを感じますか？ またこの箇所を通してあなたの霊はどんな影響を受けましたか？

### 2日(土) 哀歌 3: 40~66 第三の歌(悔い改めの祈り)

1. ここでは苦しみと祈りが記されます。著者にとって最もつらかった事は何だったと思えますか？ 私たちの周りにはどのような苦しみがありますか？
2. 苦しみは祈りにつながります。このような祈りを通して、著者の心にどんな変化が起きると思えますか？ またあなたは似たような祈りを通して、どんな答えを得ましたか？ また、著者がへりくだって神様に全てをゆだねている箇所を見出しましょう。あなたなら、へりくだりの気持ちをどのように表しますか？

**\*今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**